

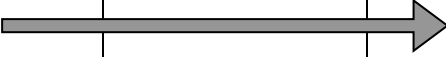
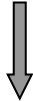
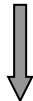
CAPOX+BV

Cape(カペシタビン) +L-OHP(オキサリプラチン) +BV(ベバシズマブ)

【適応】

治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん

【投与スケジュール】

	Day1		Day15		Day21
Cape 2000mg/m ² 分 2					
BV 7.5mg/kg 90 分かけて (初回)					
L-OHP 130mg/m ² 2 時間かけて					

Cape は Day1 の夕から服用開始し、14 日間服用する (Day15 の朝まで)。1 週間休薬。

3 週を 1 コースとする。

※BV は初回 90 分かけて点滴静注を行う。InfusionReaction 等なければ、2 回目以降、60 分、30 分と短縮可能。

※BV による重度 (Grade3 以上) の Infusion reaction が現れた場合、本剤の投与を中止し、以降、本剤を投与しないこと。また Grade2 以下の Infusion reaction が現れた場合は、投与速度を減じて慎重に投与すること。

●カペシタビン投与量について、クレアチンクリアランス (CLcr) 値により必要に応じて減量してください。

クレアチンクリアランス推定値 CLcr (Cockcroft-Gault 式)

男性 Ccr 推定値 (mL/min) = 体重 (kg) × (140 - 年齢) ÷ (72 × 血清クレアチニン値 (mg/dL))

女性 Ccr 推定値 (mL/min) = 体重 (kg) × (140 - 年齢) × 0.85 ÷ (72 × 血清クレアチニン値 (mg/dL))

中等度：投与開始前の CLcr が 30~50mL/min の患者→75%用量 (減量段階 1) で開始

軽度：投与前の CLcr が 51~80mL/min の患者→初回減量は不要

※Cape の投与量について

体表面積	通常量	1 段階減量	2 段階減量
1. 36 m ² 未満	1200mg (4 錠) /回	900mg (3 錠) /回	600mg (2 錠) /回
1. 36～1. 41 m ² 未満	1500mg (5 錠) /回	1200mg (4 錠) /回	
1. 41～1. 51 m ² 未満			
1. 51～1. 66 m ² 未満	1800mg (6 錠) /回	1500mg (5 錠) /回	900mg (3 錠) /回
1. 66～1. 81 m ² 未満			
1. 81～1. 96 m ² 未満	2100mg (7 錠) /回		
1. 96～2. 11 m ² 未満			
2. 11 m ² 以上			1200mg (4 錠) /回

※Cape の休薬、減量、再開について

NCI による毒性の Grade 判定	治療期間中の処置	治療再開時の投与量
Grade1	休薬・減量不要	減量不要
Grade2 初回発現 2 回目発現 3 回目発現 4 回目発現	Grade0～1 に軽快するまで休薬 Grade0～1 に軽快するまで休薬 Grade0～1 に軽快するまで休薬 投与中止・再投与不可	減量不要 1 段階減量 2 段階減量
Grade3 初回発現 2 回目発現 3 回目発現	Grade0～1 に軽快するまで休薬 Grade0～1 に軽快するまで休薬 投与中止・再投与不可	1 段階減量 2 段階減量
Grade4 初回発現	投与中止・再開不可 あるいは治療継続が患者にとって望ましいと判定された場合は、Grade0～1 に軽快するまで投与中断	2 段階減量

※手足症候群の判定基準

Grade	臨床領域	機能領域
1	しびれ、皮膚知覚過敏、ヒリヒリ・チクチク感、無痛性腫脹、無痛性紅斑	日常生活に制限を受けることはない症状
2	腫脹を伴う有痛性皮膚紅斑	日常生活に制限をうける症状
3	湿性落屑、潰瘍、水疱、強い痛み	日常生活を遂行できない症状

該当する症状の Grade が両基準（臨床領域、機能領域）で一致しない場合は、より適切と判断できる Grade を採用する。